学校番号	315

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ　Ｐｙｔｈｏｎ」　（実教出版）						
副教材等	「情報Ⅰ　Ｐｙｔｈｏｎ　学習ノート」　（実教出版） 「新「情報」活用テキスト」（Ｐ検協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することをめざします。
(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報と情報技術についての知識と技能、活用方法についての知識と技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付ける視点を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度など情報モラルを養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		オリエンテーション				
	情報社会	情報と情報社会・問題解決の考え方・法規による安全対策・個人情報とその扱い・知的財産権の概要と産業財産権・著作権・について学ぶ	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。	確認テスト 定期考査	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 レポート課題 ノート 振返りシート
	情報デザイン	コミュニケーションとメディア・情報デザインと表現の工夫・Webページと情報デザインについて学ぶ	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。			
2	デジタル	デジタル情報の特徴・数値と文字の表現・演算の仕組み・音の表現・画像の表現・コンピュータの構成と動作・コンピュータの性能について学ぶ	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。	確認テスト 定期考査	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 レポート課題 ノート 振返りシート
	ネットワーク	ネットワークとプロトコル・インターネットの仕組み・Webページの閲覧とメールの送受信・情報システム・情報システムを支えるデータベース・データベースの仕組み・個人による安全対策・安全のための情報技術について学ぶ	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。			
	問題解決	データの収集と整理・ソフトウェアを利用したデータの処理・統計量とデータの尺度・モデル化とシミュレーション・	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。			
3	プログラミング	アルゴリズムとプログラミング・プログラミングの基本・配列・関数・探索のプログラム・整列のプログラムについて学ぶ	a:左記の内容について理解している。 b:左記の内容について具体的な例を挙げて説明することができる。 c:左記の内容について興味関心をもって取り組んでいる。	確認テスト 定期考査	パフォーマンス課題 レポート課題	レポート課題 ノート 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度